

広域観光・文化振興の取組

■ 「関西観光・文化振興計画」に沿った施策の展開

平成 24 年 3 月に、関西から日本の元気を取り戻し、観光から日本の元気を取り戻すという高い目標を掲げて「関西観光・文化振興計画」を策定。平成 30 年 3 月に、ゴールデン・スポーツイヤーズを控えたスポーツ観光の推進、文化庁の本格移転を契機とした文化観光の推進、一般財団法人関西観光本部を中心とした推進体制への確立などの内容を盛り込み、計画の改定を行いました。

この計画に基づき、観光・文化振興に取り組む自治体や関係機関、経済団体等と連携し、関西一体となった戦略的な取組を進めています。

現行計画に掲げた将来目標等

- ・ 将来目標 関西の将来像を「アジアの文化観光首都・関西」としての地位の確立とする
- ・ 数値目標 関西を訪問する外国人客数 1,800 万人(2020 年)を目指すなど

<目標の達成に向けた7つの戦略>

1. 国際競技大会等を踏まえた観光の推進

国際的なスポーツイベントと連動した誘客の推進、文化プログラムの推進、スポーツ・ツーリズムの推進

2. 文化力の向上と文化観光の推進

「文化首都」としての関西文化の発信、文化庁との連携、文化芸術資源をテーマでつなぐ「文化の道」事業の展開など

3. 外国人観光客の急増対策としてのインフラ整備の充実

「KANSAI ONE PASS」「KANSAI Wi-Fi (official)」の利便性向上、IoT・ビッグデータなどの新技術の活用など

4. 「KANSAI」のさらなる知名度アップ

世界水準の広域観光周遊ルートの推進、「KANSAI 国際観光 YEAR」の展開、「KANSAI」の世界への発信など

5. 旅行消費額拡大に向けた取組

「モノ消費」「コト消費」を促す情報発信強化、決済環境の変化に対応した整備など

6. 関西観光本部を中心とした推進体制の確立

旅行者の動向把握等によるマーケットの創出、「関西文化の日」など文化に親しむ機会の充実など

7. 今後のさらなる展開

IR 実施法等を見据えた観光・MICE における連携、通訳案内士やボランティア等の育成など

■ 令和3年度予算

「関西観光・文化振興計画」に沿って、特に戦略的に取り組むことについて、当初予算では、92,797千円を計上しています。

令和3年度分野予算

○KANSAI ブランドの構築（44,570千円）

「新・関西観光・文化振興計画（仮称）」の策定、KANSAI 国際観光 YEAR の実施、海外観光プロモーションの実施、関西観光本部事業、WEB による情報発信

○基盤整備の推進（14,500千円）

通訳案内士等の人材育成、関西周遊環境の整備

○ジオパーク事業（918千円）

国内外に向けた魅力発信、山陰海岸ジオパーク・南紀熊野ジオパークを巡る周遊観光促進、ジオパークに通じた人材の育成

○関西文化の魅力発信（32,399千円）

関西文化の振興と国内外への魅力発信、連携交流による関西文化の一層の向上、関西文化の次世代継承、情報発信・連携交流支援・人づくりを支えるプラットフォームの活用、新たな関西文化の振興

○管理費（410千円）

■ 令和3年度の実施状況

1 KANSAI ブランドの構築

(1) 「新・関西観光・文化振興計画（仮称）」の策定

「関西観光・文化振興計画」は、今年度末をもって計画期間（10 箇年）の満了を迎えることから、昨年度から有識者等で構成する策定委員会を設置し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響など社会経済情勢の変化や文化庁の関西移転、大阪・関西万博の開催などを好機ととらえた新たな計画の策定を進めています。

(2) KANSAI 国際観光 YEAR の実施

国際観光圏「KANSAI」のブランドを世界に売り込むため、世界に誇る関西の魅力や強みを毎年 1 つのテーマに絞って発信する「KANSAI 国際観光 YEAR」を展開しています。

令和3年は、過去2年と同様に「ゴールデン・スポーツイヤーズ」をテーマとしており、スポーツをテーマとした情報発信を行うこととしております。

＜参考＞ 2013 年「関西の食文化」、2014 年「関西のマンガ・アニメ等」、
2015 年「関西の世界遺産等」、2016 年「関西のスポーツ観光」、
2017 年「食を楽しむ観光」、2018 年「関西の文化観光」
2019 年・2020 年・2021 年「ゴールデン・スポーツイヤーズ」

(3) 海外プロモーションの実施

世界的に新型コロナウイルス感染症が収束していない中、従来のように構成府県市・経済団体等と共同でトッププロモーションを行うことが難しいことから、コロナ収束後のインバウンド回復を見据えたプロモーションを実施します。

(4) 関西観光本部事業

「関西観光・文化振興計画」の推進役として、関西広域連合を含む官民が一体となり設立された一般財団法人関西観光本部が、文化観光やスポーツ観光など関西をアピールする様々なプロモーションや、府県市や地域 DMO 等の参画団体との個性を活かした関西ならではの連携事業を展開しており、その費用の一部を負担しています。

令和3年度については、インバウンド再開までにはまだ時間を要することから、それまでの間の取組として、国内の観光客への需要喚起を進めるとともに、デジタルプロモーションによる情報発信や関西域内の周遊促進・環境整備など将来のインバウンド回復を見据えた準備を進めていきます。

< 関西観光本部の主な活動 >

- ① 関西の現地情報の収集と分析
- ② 国内需要の喚起
 - ・日本人向けサイト「プレミアム関西」新設
- ③ インバウンド回復に向けて関西の訴求力を高める情報発信
 - ・海外のオンライン商談会への参加
 - ・価値の高い特別文化体験を紹介する動画制作・発信
 - ・訴求力のある海外旅行誌やガイドブックへの掲載
 - ・国内のエージェント等を対象としたファムトリップやメディアツアーの企画
 - ・海外番組とのタイアップ企画
- ④ 関西の周遊促進に向けた準備
 - ・広域観光・周遊ルート(The EXCITING KANSAI 事業)の着実な形成推進
 - ・広域観光・周遊ツールの整備
 - ・テーマ型観光ルートの形成のための調査事業の実施
- ⑤ 次期グランドデザイン(2022~2025)の策定 など



(5) WEB による情報発信

関西観光本部のHPである「The KANSAI Guide」において、関西広域連合が従来から発信しているWEB情報のほか、SNSでも合わせて発信をしています。



「プレミアム 関西」

2 基盤整備の推進

全国通訳案内士等の人材育成や KANSAI Wi-Fi の運用、「ワールドマスタースゲームズ 2021 関西」の開催地の観光情報の発信など、関西域内の周遊を促進する環境整備を進めています。



通訳案内士研修

3 ジオパークの魅力発信・周遊促進

関西広域観光の幅を広げ、外国人観光客の関西圏内の周遊を促進するため、関西にある優れた地質景観スポットを提案・PRを実施しています。

令和3年度は、旅行会社、通訳案内士によるファムトリップの実施や国内外への情報発信に加え、外国人観光客のジオパークでの周遊を見据えて、ジオパークに通じた人材の育成等を実施します。

4 関西文化の魅力発信

(1) 関西文化の振興と国内外への魅力発信

関西2府8県4政令市の美術館・博物館・資料館等の文化施設等の協力を得て常設展等を無料とする「関西文化の日」を実施し、関西が誇る長い歴史に培われた豊かな文化資源に気軽に接する機会を提供するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響から回復を支援します。

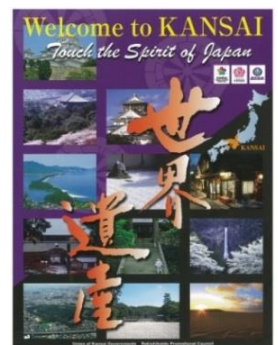
令和3年度は11月13日(土)・14日(日)を中心に関西文化の日を実施するとともに、冬休みに合わせて1月にも「関西文化の日プラス」として同様の取組を実施します。また、関西文化情報サイト「関西文化.com」により、関西各地の様々な芸術文化情報を幅広く情報を発信しています。



(2) 世界文化遺産等発信事業の推進

関西広域連合エリアは、古墳時代から戦国・江戸時代まで国内でも有数の世界文化遺産集積地になっており、観光分野・関係団体とも連携し、フォーラムの開催やリーフレットの作成など、広く無形文化遺産や世界の記憶、ジオパーク、世界遺産暫定リスト登録遺産等も含めて一体的に情報発信を行い、関西の多彩な文化の魅力を発信しています。

令和3年度は、1月に堺市において、「関西古墳サミット」を堺市との共催により開催するほか、2月に和歌山県和歌山市において、「歴史文化遺産フォーラム」を歴史街道推進協議会、文化庁地域文化創生本部との共催により開催します。



(3) 関西文化の次世代継承

関西地域の文化団体や指導者等と連携し、関西の伝統芸能や生活文化を、コロナ禍で体験機会を喪失した、次代を担う子供たちが体験・習得できる機会を提供します。

令和3年度は、能・狂言教室及び茶道教室をオンラインで開催するほか、人形浄瑠璃のレクチャー動画を作成・配信します。



(4) 新たな関西文化の振興

「はなやか関西・文化戦略会議」委員を中心に、文化庁の京都移転、2025年大阪・関西万博等の開催を契機とした関西の文化振興の取り組み等について意見をいただきます。

令和3年度については、関西の地域の祭りを紹介するPR動画の作成・配信を行うほか、11月に京都市において、関西各地の地域文化の魅力を発信する「関西地域文化フェア」を文化庁京都移転準備実行委員会との共催により開催します。